

令和3年度決算 予算決算委員会資料 財務部・出納課

- 1 財務部・出納課決算状況調べ(一般会計) 1頁
- 2 公債管理決算状況調べ(特別会計) 3頁
- 3 駐車場事業決算状況調べ(特別会計) 5頁
- 4 令和2年度決算 予算決算委員会の
意見・要望・指摘事項に対する処置状況 7頁
- 5 令和2年度決算 監査委員の意見に対する回答状況 8頁

様式 1

歳 出

財務部・出納課 決算状況調べ(一般会計)

区 分 (款 項 目)	予 算 現 額 A 円	決 算 額 B 円	翌年度繰越額 C 円
(款)2 総務費	4,996,500,000	4,712,357,174	210,677,000
(項)1 総務管理費	3,458,901,000	3,212,859,882	210,677,000
(目)1 一般管理費	945,387,000	931,548,608	0
(目)5 財政管理費	2,081,868,000	2,070,610,033	0
(目)6 会計管理費	109,025,000	107,852,461	0
(目)7 財産管理費	322,621,000	102,848,780	210,677,000
(項)3 徴税费	1,537,599,000	1,499,497,292	0
(目)1 税務総務費	949,253,000	935,761,337	0
(目)2 賦課徴收費	588,346,000	563,735,955	0
(款)4 衛生費	104,987,000	104,987,000	0
(項)2 環境衛生費	104,987,000	104,987,000	0
(目)10 上水道費	104,987,000	104,987,000	0
(款)8 土木費	6,568,492,000	6,568,492,000	0
(項)5 都市計画費	6,568,492,000	6,568,492,000	0
(目)8 下水道費	6,568,492,000	6,568,492,000	0
(款)12 公債費	21,548,721,000	21,543,507,136	0
(項)1 公債費	21,548,721,000	21,543,507,136	0
(目)1 元金	20,494,098,000	20,493,538,477	0
(目)2 利子	1,054,623,000	1,049,968,659	0
(款)13 予備費	100,000,000	0	0
(項)1 予備費	100,000,000	0	0
(目)1 予備費	100,000,000	0	0

執行率 (B+C)/A %	不用額 A-B-C 円	不用額の主なもの 円	備考
98.5	73,465,826		
99.0	35,364,118		
98.5	13,838,392	・財務一般管理費 7,222,575 ・庁舎維持管理費 5,310,120	
99.5	11,257,967	・財政調整基金費 6,204,132 ・減債基金費 4,436,014	
98.9	1,172,539	・会計事務費 1,172,539	
97.2	9,095,220	・市有財産維持管理費 4,703,637 ・車両管理費 4,388,824	
97.5	38,101,708		
98.6	13,491,663	・税務事務費 11,769,658 ・ふるさとぬくもり基金費 1,681,405	
95.8	24,610,045	・賦課徴収事務費 22,273,018 ・総合口座振替推進事業 1,119,958 ・債権管理対策事務費 1,217,069	
100.0	0		
100.0	0		
100.0	0		
100.0	0		
100.0	0		
100.0	0		
99.9	5,213,864		
99.9	5,213,864		
99.9	559,523		
99.6	4,654,341	・公債管理特別会計繰出金 2,933,228 ・一時借入金利息 1,721,113	
0.0	100,000,000		
0.0	100,000,000		
0.0	100,000,000	・予備費 100,000,000	

様式 1

歳 入

公債管理 決算状況調べ(特別会計)

区 分 (款 項 目)	予 算 現 額 A 円	収 入 済 額 B 円	増減(△)額 B-A 円
(款)1 繰入金	21,545,762,000	21,542,269,249	△ 3,492,751
(項)1 一般会計繰入金	21,545,762,000	21,542,269,249	△ 3,492,751
(目)1 一般会計繰入金	21,545,762,000	21,542,269,249	△ 3,492,751
(款)2 市債	1,360,300,000	1,360,300,000	0
(項)1 市債	1,360,300,000	1,360,300,000	0
(目)1 借換債	1,360,300,000	1,360,300,000	0
合 計	22,906,062,000	22,902,569,249	△ 3,492,751

歳 出

区 分 (款 項 目)	予 算 現 額 A 円	決 算 額 B 円	翌年度繰越額 C 円
(款)1 公債費	22,906,062,000	22,902,569,249	0
(項)1 公債費	22,906,062,000	22,902,569,249	0
(目)1 元金	21,854,398,000	21,853,838,477	0
2 利子	1,051,664,000	1,048,730,772	0
合 計	22,906,062,000	22,902,569,249	0

増減(△)額の主なもの	円	備考
一般会計繰入金	△3,492,751	

執行率 (B+C)/A %	不用額 A-B-C 円	不用額の主なもの 円	備考
99.9	3,492,751		
99.9	3,492,751		
99.9	559,523		
99.7	2,933,228	利子償還金 2,933,228	
99.9	3,492,751		

様式 1

歳 入

駐車場事業 決算状況調べ(特別会計)

区 分 (款 項 目)	予 算 現 額 A 円	収 入 済 額 B 円	増減(△)額 B-A 円
(款)1 使用料及び手数料	264,467,000	259,261,250	△ 5,205,750
(項)1 使用料	264,467,000	259,261,250	△ 5,205,750
(目)1 駐車場使用料	264,291,000	259,087,600	△ 5,203,400
(目)2 行政財産目的外使用料	176,000	173,650	△ 2,350
(款)2 財産収入	318,000	37,999	△ 280,001
(項)1 財産運用収入	318,000	37,999	△ 280,001
(目)1 利子及び配当金	318,000	37,999	△ 280,001
(款)3 諸収入	4,531,000	4,530,817	△ 183
(項)1 雑入	4,531,000	4,530,800	△ 200
(目)1 雑入	4,531,000	4,530,800	△ 200
(項)2 市預金利子	0	17	17
(目)1 市預金利子	0	17	17
合 計	269,316,000	263,830,066	△ 5,485,934

歳 出

区 分 (款 項 目)	予 算 現 額 A 円	決 算 額 B 円	翌年度繰越額 C 円
(款)1 駐車場費	269,316,000	263,830,066	0
(項)1 駐車場管理費	269,316,000	263,830,066	0
(目)1 駐車場管理費	193,714,000	188,229,006	0
(目)2 繰出金	75,602,000	75,601,060	0
合 計	269,316,000	263,830,066	0

様式2

令和2年度決算 予算決算委員会の
意見・要望・指摘事項に対する処置状況

所 属	意見・要望・指摘事項	処 置 状 況
財務部	該当なし	

様式3

令和2年度決算 監査委員の意見に対する回答状況

所 属	監査委員の意見	回答状況
<p>財政課</p>	<p>財政の健全性を堅持していくために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳入面では、市税のさらなる課税客体の把握とともに、市税等の収入率の向上を図るなど、自主財源の確保に引き続き努めるほか、企業誘致をさらに推進し税源の涵養を図ること、交付税措置のある有利な市債を積極的に活用すること、売却可能な財産の処分を図ること、また、財政調整基金等の基金の活用を図ること、加えて、地方交付税の更なる増額や地方分権を見据えた地方税財源の拡充などについて、積極的に国に働きかけること ・歳出面では、事業再点検や事務事業の徹底した見直しを引き続き行うほか、職員定員や給与の適正化、指定管理者制度を導入している施設の検証や民営化・民間委託などの推進、多様なPPP/PFI手法を用いた公共サービスの提供などに積極的に取り組むこと、また、「公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設の再編を推進すること <p>などを基本として、今後とも、本市の目指す「人・まち・自然が調和する活力都市とやま」の実現に向け、市民一人ひとりが希望を持ち続けることができるまちづくりを推進できるよう、将来にわたって持続可能な健全財政の確保に努められたい。</p>	<p>1 歳入では、市税の収入率は、前年度から0.9ポイント高くなり、市町村合併以降最高の96.3%となっており、引き続き収入率の向上に努めてまいります。</p> <p>企業誘致については、第2期呉羽南部企業団地の分譲を進めているところであり、企業の進出支援など積極的な誘致活動に取り組んでまいります。</p> <p>地方交付税のうち特別交付税については、毎年、直接国に要望しております。</p> <p>また、未利用市有地の売却に努めるなど、自主財源の確保・拡充に努めております。</p> <p>2 一方、歳出では、事務事業評価を実施した結果、令和4年度当初予算編成において、14事業を廃止するなど、68事業の見直しにより513,267千円を削減しております。</p> <p>また、公共施設については、大沢野・大山地域の公共施設複合化事業など、将来を見据えて公共施設の集約化を進めるとともに、施設の長寿命化などにより、維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減を図っております。</p> <p>3 今後とも、将来にわたり持続可能な財政運営に取り組んでまいります。</p>

様式3

令和2年度決算 監査委員の意見に対する回答状況

所 属	監査委員の意見	回答状況
納税課	<p>収入未済額は引き続き税収の確保に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う徴収猶予の特例という特殊な要因があったことにより前年度と比べ増加した。このため、財源確保と公平性の観点から、引き続き収納対策を積極的に推進され、収入率の向上に努められたい。</p>	<p>未収市税の収納に関して、現年度の対象者については、早期の段階で臨戸や電話、文書等による催告や口座振替の加入勧奨等を行い、納税促進を図ります。</p> <p>一方、累積滞納者については、休日臨戸催告や夜間・休日電話催告を積極的に行うことで納付を促し、それでも納付されない者に対しては、財産等の調査と滞納処分の執行に加え、債権管理対策課と連携して公売を実施するなど、収入未済額の縮減に努めてまいります。</p> <p>また、納税環境の整備に関して、口座振替については、「当初納税通知書送付時に口座振替申請用紙を同封する」、「未加入者に口座振替勧奨はがきを送付する」といった取り組みにより、引き続き口座振替加入促進を図ってまいります。</p> <p>さらに、平成19年度から開始したコンビニ納付や令和3年度から導入したスマートフォン決済アプリによる納付の利用についても、定着・推進のため「広報とやま」や「市ホームページ」などによる広報活動に引き続き力を入れるとともに、夜間・休日納税相談窓口を開設することで納付しやすい環境をつくり、今後とも収入率の向上に努めたいと考えております。</p>

様式3

令和2年度決算 監査委員の意見に対する回答状況

所 属	監査委員の意見	回答状況
管財課	<p>不要となった公用車については、令和2年度からインターネットでの官公庁オークションを利用した売却を実施したところであり、引き続き多様な売却方法を検討するなど、資産に応じた有効活用に努められたい。</p>	<p>不要となった公用車については、スクラップし、鉄くずとして処理することを条件とした指名競争入札による処分のほか、官公庁オークションによる処分や、私的な利用に耐えうる一部の塵芥収集車について、現状有姿での一般競争入札による処分を実施しております。</p> <p>令和3年度には、塵芥収集車のほかに、旧地域資源活用促進施設で使用されていた普通貨物自動車や作業用特殊車両5台についても現状有姿での一般競争入札を実施し、予定価格630,000円を大きく上回る4,200,800円で売却したところ です。</p> <p>今後とも、各車両の現状に応じた処分方法について検討し、資産の有効活用に努めてまいります。</p>

様式3

令和2年度決算 監査委員の意見に対する回答状況

所 属	監査委員の意見	回答状況
管財課	<p>物品の管理については、定期監査において備品管理に関する誤りが引き続き散見される状況にあることから、管理体制の強化に努められたい。</p>	<p>会計年度末における物品の現在高については、各所属から物品現在高調書の提出を受け、物品統括課である管財課で取りまとめを行っているところであります。</p> <p>管財課では、物品の適切な管理を行うため、令和3年8月及び令和4年1月に備品台帳の記載内容と現況について、数量等が一致しているか、各所属において、年度内に棚卸し作業により確認するように通知しております。</p> <p>今後とも、定期的に棚卸しを行い、物品の受入れや払出しの手続きが失念することがないように徹底するとともに適切な物品の管理に努めてまいります。</p>